資料5

令和６年度　北九州市総合教育会議

［協議②］

新たな時代の教育デザインの構築

新たな時代の教育デザインの構築

今のこどもたちが大人になったときに・・・



正解のない時代に生きる力（未来を創る能力・レジリエンス）

●自分なりの価値観・哲学
●他者への思いやりや多様性の理解
●自分で問いを見つけ、解決する力
●本来持っている可能性の発揮

個々のウェルビーイング

〇社会に新たな価値を創造し、「新たな解」を生み出す
〇様々な社会課題を解決し、地域・国際社会に貢献する

社会のウェルビーイング

北九州市教育大綱の策定（令和6年4月）

「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実

5つの柱

① 全てのこどもにとって「居心地の良い学校」をつくる
② 失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる
③ 誰一人取り残さない学びと、先端的な学びを進める
④ 学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める
⑤ 地域とのつながりの中で、こどもを見守り支え、育てる

新たな時代の教育デザインの構築

なぜ「新たな時代の教育デザイン」が必要なのか？

Ⅰ　時代の要請

- ✓ **新たな学びへの転換**
  個別最適・協働的な学び（一斉授業からの脱却）、不登校の増加、正解のない時代に生きる力の涵養
- ✓ **社会環境・価値観・ライフスタイルの変化への対応（サステナブル）**
  DX、グローバル化、地球温暖化、まちづくり、少子高齢化、インフラ、人的資本、多様性・包摂性

Ⅱ　ニーズ

- ✓ **全校アンケート（教育プラン）**
  ［こども］
  学校施設（トイレ・空調・老朽化）、友達との遊び・スポーツ、行事・体験、登下校の安全安心
  ［教職員］
  教職員の増加と質の向上、業務改善、教育環境の整備

Ⅲ　本市の動向

- ✓ **新ビジョン・教育大綱の策定**
  「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現、「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実
- ✓ **X会議の開催（市政変革）**
  新ビジョンに基づく行財政運営を将来にわたって着実に推進

最適な学校のあり方とは？　教育大綱を実現するには？

北九州市型みらい教育デザイン（案）

新たな学校に人的・財的リソースを集中し、新しい時代に対応した、持続可能な学校施設にアップデート

課題解決
価値創出

2040年を見据えた先端モデルを提示し、サステナブルシティの実現に寄与

こどもまんなか
質の高い教育
教職員のｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞ
持続可能性

安全


快適
空調・断熱・洋式ﾄｲﾚ
給食の充実
安全・安心な施設

教職員

SX
質の確保・配置の充足
働き甲斐・働きやすさ
特色ある自律的な学校運営

小中一貫教育


GX
再エネの利用
自立電源化


DX
高度なICT環境


完全バリアフリー化
包摂
特別支援学校の併設

体育館


学び

教育内容と活動空間の充実
個別最適・協働的
先端・AI
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ





選択
配信
多様な学びの場の提供

自宅
ｻｰﾄﾞﾌﾟﾚｲｽ

部活動・体験の確保



出典：学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議　令和4年3月「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告